



人生の賛歌

～ピアノとお話～

ピアノ / 田崎悦子

2017年5月4日 (木・祭)
14:00 開場 14:30 開演

会場：ライティングハウスTokyo南アルプス・サロン

(東京方面からのアクセス)
最寄駅 信濃境駅より徒歩20分
JR小淵沢駅よりタクシーにて約10分
中央自動車道小淵沢ICより富士見方面へ車で15分

(関西方面からのアクセス)
最寄駅 信濃境駅より徒歩20分
JR富士見駅よりタクシーで約10分
中央道自動車道小淵沢ICより富士見方面へ約15分
(*会場へのご送迎も可能です)



(会場へのアクセス)

～プログラム～

第一部 ピアノブーケ (演奏とお話)

スカルラッチィ	ソナタ集より
リスト	ベトラルカのソネット・ハンガリー狂詩曲第8番嬰ハ短調
ショパン	幻想ポロネーズOp.61

第二部 田崎悦子との対談とともに1979年のシカゴでのライブ録音を聴く

希少なライブ録音を、生演奏を彷彿とさせる特殊なスピーカーと、特別なコーヒーを味わいながら田崎悦子さんとの対談とともに聴いていただける企画です。

チケット4,500円 (第二部の参加費、コーヒー茶菓子、グラス・ワインも含まれます)

(お問い合わせ) 電話(0266-65-3131代) 電子メールkouheikarasawa@me.com NPOホームページ lmf-labo.org

主催:NPO法人「心は灯と音と森の研究所」
協賛:ライティングハウスTokyo (株)
後援:(株)正光社 富士見町教育委員会 (株)長野日报社



(一年を通し四季の美しい変化の移ろいに恵まれる、ライティングハウス・南アルプスサロンの周囲)

田崎悦子 (プロフィール)

桐朋学園音楽科高校卒業後、ジュリアード音楽院で研鑽を積み、以後30年間アメリカに在住。1970年代、ブゾーニ、リスト-バルトーク国際コンクールに上位入賞。ヨーロッパ各地とカーネギーホールにてニューヨークデビュー。これまでにシヨルティ指揮のシカゴ交響楽団、サヴァリッシュ指揮のスイス・ロマンダ管弦楽団、スラトキン指揮のセントルイス交響楽団他、小澤征爾等、国際的指揮者率いる世界の有名オーケストラと協演。リサイタルをアメリカ全土、ヨーロッパ、日本各地にて開催。アメリカ建国200年祭では、アメリカを代表する10人の若手ピアニストに選ばれた。日本ではN響をはじめ、主要オーケストラと協演の他、リサイタルではこれまでの概念をうち破った企画と演奏で絶大な注目を浴び、1997年「三大作曲家の遺言」は文化庁の芸術祭参加作品となった。2014年、2015年、それぞれ大阪と東京にて「三大作曲家の遺言」シリーズを再演。その音楽的パワーと繊細さで絶賛され、NHK BSプレミアムにおいて複数回放送。CD「バッハ パルティータ」「ショパン・ファンタジア」「三大作曲家の遺言」は、レコード芸術特選盤に選ばれる。その他、CD多数リリース。日本音楽コンクール、全日本学生コンクール、ピティナ特級、浜松国際コンクール審査員、米ワシントン大学教授、東京音楽大学教授、桐朋学園音楽大学および同大学院特任教授歴任。 <http://www.etsko.jp/>

(ライティングハウス・南アルプスサロンに田崎悦子さんをお迎え出来る幸福)

此の度、NPO法人「心は灯と音と森の研究所」は、ピアニスト、田崎悦子氏を出演者にお迎えする好機に恵まれたことを、感謝しています。第二部は、田崎悦子氏との対談と共に、1979年のシカゴでの田崎悦子氏の希少な録音を、人肌の温もりや楽器の臨場感、奏者の息吹を感じさせる素晴らしいスピーカーで聴いていただきます。此のスピーカーは受注生産の貴重な製品となります。当日、とても美味しい、特別なコーヒーもご用意します。新録の美しい南アルプス、八ヶ岳南麓の大地で開かれる、祝祭的な雰囲気のあるサロンの中、田崎マジックの真髄を、音楽と、田崎悦子氏のお話を通して体験していただける、貴重な時間を、ライティングハウス南アルプス・サロンで一緒に体験いたしましょう！

次回、ライティングハウス南アルプス・サロンでは、和波たかよしさんと土屋美寧子さんのデュオによる、「絵と語りとピアノ」に触れる新企画のサロン・コンサートを催します。詳細は、ホームページをチェックしてください。

ライティングハウスTokyo南アルプス・サロン 〒399-0102長野県諏訪郡富士見町落合4073

NPO法人「心は灯と音と森の研究所」は、灯、音、森、心をキーワードにする活動を続けております。コンサート企画などに関しては、同法人、ホームページをご参照ください。

NPO法人「心は灯と音と森の研究所」 lmf-labo.org